



Central Times

3月臨時号 2007.3.23

教育大サッカー部のみなさん、1年間お世話になりました。

4年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、今までご指導して下さいまして本当にありがとうございました。子供達だけでなく、私達指導者も皆さんの指導する姿やプレーする姿を見て本当に勉強になりました。宗像に福岡教育大学のような素晴らしい大学があることを本当にうれしく思います。子供達も皆さんから教わったことや姿を思い出しながらプレーしていくことと思います。これからのサッカーに携わっていかれる方も多いと思われます。セントラルのことを忘れずに、近くに来た際にはぜひお立ち寄り下さい。これからもよろしくお祈りします。

<代表 大石 潤>



教育大サッカー部の練習を時折見せていただくたびに、厳しさの中に楽しさと笑顔と声を絶やさぬ「エネルギー」をいつも感じさせていただきました。このエネルギーは今、セントラルの子どもたちにも息づこうとしています。リーグ優勝、選手権全国ベスト8という輝かしい成果を残された2006年度、過密スケジュールの中をセントラルへ積極的に関わっていただいたこと、子どもたちといっしょになってボールを追いかけてくださったこと、時には楽しく、そして熱心に教えていただいたこと、感謝の気持ちでいっぱいです。子どもたちは感じています。「あんなに上手になりたいなあ」「お兄ちゃんみたいになりたいなあ」と。

1年間楽しく活気のあるサッカーを本当にありがとうございました。そして、これからもサッカーの素晴らしさを子どもたちにたくさん伝えてあげてくださいね。

<事務局 太田>

今年から宗像セントラルのコーチとして主に小学生を指導してきました。指導らしい指導はほとんどできませんでしたが、みんなと一緒にボールを蹴っている時間は自分も小学生に戻ったかのようにサッカーを楽しむことができました。サッカーの技術や周りを見る力は小中学時代で決まってくると言われます。今このときに数多くボールに触って、色々なことを意識しながらチャレンジしていくことがこれからのサッカーに影響してくると思います。とにかくフティングを練習することがサッカーがうまくなる一番の近道ではないかと僕は思います。いずれこの宗像セントラルの子供たちの中から、サムライブルーのユニホームを着た選手が出て来ることを期待しています。1年間ありがとうございました。<4年 稲葉勇気>

自分は主にGKを指導させていただいてきたのですが、この1年間を振り返ると、まだまだ教えない事や動きが数多くありました。自分が考えるプレーや動きを言葉で伝える事がこんなに難しいものとは思いませんでした。ですがその中で、少しずつ上手くなっていくのが見えた時にすごく嬉しかったです！とてもいい経験になりましたし、自分自身も成長させていただいた1年でした。熱くなれるものを持つ事は素晴らしい事だと思いますし、ずっと続けて欲しいと思います！頑張ってください！！1年間ありがとうございました！！

<4年 古村浩祐>



自分がみんなに言うことはただこれだけです。サッカーをずっと好きでいて下さい。そして、自分が信じた道を最後まで諦めずに走り抜けて下さい！！そうすれば絶対に結果はついてきます。

<4年 濱田昌義>

今年度宗像セントラルで中学生にサッカーを教えた事は自分にとってとても貴重な経験になりました。人にサッカーの指導をするのが初めての事だったので最初の頃はどのように声をかけてよいかさえ分かりませんでした。しかし温かい指導者の方々のご支援や中学生の人なつっこさに救われ、なんとか1年間を無事に終える事ができました。今年学んだ事は必ず自分がこれからサッカーに携わっていく上での糧になると思います。宗像セントラルは自分にとって初めてサッカーの指導をしたチームなので特別な思いがあり、これからも応援していきたいと思っています。大した力になれなかったかもしれませんが本当に1年間ありがとうございました。

<4年 河上智一郎>

みなさんはなぜサッカーをしているのですか？僕は小学校1年生の時からですとサッカーをしているのですが、ずっとサッカーが好きだったわけではありません。時には練習に行きたくない日があり、サッカーをやめたいとさえ思った時もあります。でもやめずに今まで続けられたのは、自分なりの目標があったからです。その目標は、ただ単純にサッカーが上手になりたいということです。この目標は未だに達成されずいます。だから僕は今までもそしてこれからもサッカーを続けていられるのです。みなさんも何か目標を持ってサッカーをしてください。そしてその目標を達成できたなら次の目標に向かって頑張ってください。<2年 今田憲男>

1年間宗像セントラルのコーチをさせていただき指導する難しさ、サッカー以外の事を指導する難しさ、サッカーをしているときとそうでない時の子供への接し方など、出来そうで出来ないが多々あり学ばされる事がたくさんありました。自分は今年度からニューウェーブ北九州という社会人のサッカーチームでプレーする事が決まっております。またサッカーが出来る事を嬉しく思っております。暇があれば是非観戦に来てもらって何でも言って頂けたら嬉しいです(試合に出ていければ)。最後に部員のみなさんに一言、頑張っている時は頑張っている事に気がつかないものだ」という言葉を贈ります。みんなはまだまだ頑張りや真剣さが足りない。一人一人がこの言葉通り頑張る事が出来たらもっと魅力のある素晴らしいチームまたは人間になる事が出来るでしょう。ではまたサッカーをしている者同士、どこかで会いましょう。

<4年 河村旬記>

1年間という短い期間でしたが私も選手という中で主にユースの選手の指導をさせて頂き、大変勉強になり、良い経験もさせてもらい、有難うございました。1年を振り返ると、1日1日の練習の大切さ、ユース時代での基本練習の重要性、またそれに関わる指導者の責任の重さなどを感じることができ、これからの糧として活かしていければと思います。また、大学サッカーでは今年が現役最後の年でチームでは副主将を務めさせてい

ただ、大学4年間の中で一番迷い、厳しく大変な年ではありましたが、その反面やりがいがあり、改めてサッカーの良さやチームワークの素晴らしさを感じ、7年ぶりのリーグ優勝、全国ベスト8などの結果も残すことができた充実した1年間を送れたのではないかと思います。最後に、これまで私にサッカー人生で学んでくれたものが、セントラル部員にどれだけ伝えることができたのか、またそれに当たり私の指導の至らないところも多々あったと思いますが、セントラル部員には常にサッカーをすることの楽しさを忘れずにこれからのサッカー人生を過ごしてもらえればと思います。本当に1年間有難うございました。

<4年 丸野吾郎>

今年度、コーチとして宗像セントラルFCに携わってききましたが、指導する中で成功もあれば失敗もあり、自分自身、試行錯誤の繰り返しでした。指導することの難しさを痛感させられ、お役に立てたかといわれると疑問が残ります。振り返ってみると本当に反省ばかり出て来るのですが、今後指導者を目指す自分としてこの1年間は非常に重要な時間であり、沢山の貴重な経験をさせていただきました。最後となりましたが宗像セントラルFCの関係者、保護者の方には色々迷惑をかけることもありました。来年度のご活躍を陰ながら応援させていただきます。有難うございました。

<4年 石田順也>

1年間小学6年生を中心にセントラルのみんなと関わってきました。いつもセントラルの練習に行くときみんな元気にサッカーをしていて、とても楽しくコーチをすることができました。その中でとても多くの事を学ぶことができ、貴重な経験ができたと思います。特に今の6年生には約2年間コーチをしてきて、一人一人が成長している姿を見ることができ、たくさんの事を教えてもらいました。小学校を卒業したら中学校のサッカー部に入る人や、セントラルで続ける人、サッカーをやめる人もいるかもしれませんがセントラルでの経験を糧に頑張ってください。私は来年もセントラルに関わりたくので、いろいろな事を学び、少しでも多くの事をセントラルのみんなに伝えていきたいです。来年もよろしくお祈りします。

<3年 百田裕>

今年1年を振り返ってみると今まで一番サッカーと向き合う時間が長かったように思います。福岡教育大のメンバーとして全国ベスト8と大変貴重な経験ができました。また、宗像セントラルでは去年より子供たちと接する機会が増え、その

成長してゆ姿に度々、指導者として喜びを覚えました。サッカー選手として、また、指導者として勉強になることも多く、課題も見付かりました。そして、今年は4年になり、チームを引っ張っていく立場となるので、後輩たちに何か残せるように、頑張りたくと思います。

<3年 前杉省吾>

宗像セントラルのコーチとして練習に参加して、1年が経過しました。セントラルのコーチになって自分自身もとても良い経験させていただいています。私はゴールキーパーを中心に一緒に練習しているのですが、今まで小学生にサッカーを教えるという機会が無かったために、練習内容を考えたり調べたりするようになりました。分かりやすく楽しく練習できるメニューを考えることを心がけていますが、なかなか難しいです。しかし後に自分の財産となることなので積極的に取り組んでいます。1年間で子ども達の進歩が目に見えるようになり、驚かされる事が多くあります。またこれからもセントラルの子ども達と互いに成長できるように練習していきたいです。

<2年 千々岩宏之>